
**So-netと「(社)情報処理学会 数理モデル化と問題解決研究会」が共同で主催
学生対象『リコメンデーションサービスコンテスト』審査結果のお知らせ**

<http://www.so-net.ne.jp/web2/compe2008/>

ソネットエンタテインメント株式会社(サービス名称:So-net、以下 So-net)は、「社団法人情報処理学会 数理モデル化と問題解決研究会(以下 MPS 研究会)」と共同で、大学生と大学院生を対象としたリコメンデーション機能を搭載するオリジナル Web サイトのコンテスト、『リコメンデーションサービスコンテスト』(エントリー期間 2008 年 2 月 21 日～4 月 30 日、開発期間 2008 年 5 月 1 日～11 月 30 日)を開催いたしました。

「リコメンド機能」は、ユーザーのさまざまな Web 活動履歴を分析し、興味をもちそうな情報やコンテンツを予想して勧めるための効果的な機能で、インターネットにおける One-to-One マーケティングの需要が高まってからは、Web サービスの重要な機能となっています。

本コンテストは、大学生や大学院生の計算機科学や関連サービスについてのモチベーションを喚起し、当該分野の一層の活性化と学生のクリエイティブな活動をより活発にすることを目的とした企画です。コンテストには 17 チームのエントリーがあり、昨年 12 月に MPS 研究会にてプレゼンテーションが行われ、選考委員会による厳正な審査のもと受賞作品が決定されました。

『リコメンデーションサービスコンテスト』 審査結果

※敬称略

・最優秀作品賞

神戸大学大学院工学研究科
小阪有平、安村禎明、上原邦昭

・優秀作品賞

東京大学大学院工学系研究科
亀山周明、内田誠、平野未来

・ビジュアルイゼーション賞

電気通信大学電気通信学部
湊匡平

・アイデア賞

大阪大学大学院情報科学研究科
岩根良輔、藤本典幸

・So-net 賞

同志社大学大学院工学科
牧野浩之

※コンテスト、投稿作品の概要、受賞結果の詳細等は、So-net「Web2.0 Salon」のサイト
(<http://www.so-net.ne.jp/web2/compe2008/>)にて公開しています。

『リコメンデーションサービスコンテスト』概要

<http://www.so-net.ne.jp/web2/compe2008/contest.html>

1. 応募内容

以下の2つの分野から1つを選択し、「リコメンデーション」機能を含む Web サイトを開発していただき、「リコメンデーション」機能部分を審査対象としました。

(1) ブログキーワードデータ 分野

So-net が運営している Web サービス『Blog Keyword Visualizer』(<http://bkv.so-net.ne.jp/>)において、集計した日本語ブログ記事のデータを用い、あるブログ記事が与えられたときに他のブログ記事や固有表現、あるいは、他の関連する何かをリコメンデーション結果としてお勧めする Web サイトを開発する。

(2) 任意分野

何らかの利用履歴をデータベースとして用い、ある入力に対してリコメンデーション結果を出力する Web サイトを開発する。
サービスに用いるデータは、開発者自身が収集したりネット上に配布されているような自由に扱えるデータ、API の使用などの制限は一切ありません。

2. 開発期間

2008年5月1日(木)～2008年11月30日(日)

3. 審査基準、及び、表彰結果

(1) 審査基準

作品のアイデアと完成度から、弊社担当および「(社)情報処理学会 数理モデル化と問題解決研究会」により構成された選考委員会により、以下の点に着目して審査いたしました。

- アイデア
「独自性」、「新規性」、「優れた切り口」、「発展可能性」
- 完成度
「出力結果の妥当性」、「有効性」、「意外性」、「視覚化効果」


* 参考 : 「社団法人情報処理学会 数理モデル化と問題解決研究会」
1995年、問題の数理的把握とモデル化及びその有効な解決手法の開発に関する研究、交流の場として誕生。以来、コンピュータを用いた問題解決が求められる理工系、人文社会系の諸分野全体を対象とし、活発な学際的研究会として成長している。

■受賞者作品画像

【優等賞】

チーム名:「神戸大学OS24」
 所属大学:神戸大学大学院工学研究科
 参加者氏名:小阪有平、安村 啓明、上原 輝昭
 タイトル:「プロダクトコミュニティにおける話題波及の検出システム」

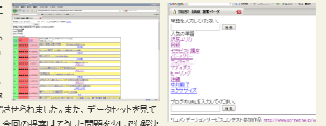
【受賞チームのコメント】
 リモートワーク環境下でエンジニアリングにおいて開発者間コミュニケーションの重要性を高く認識し、実務上の課題解決を目的として開発者間のコミュニケーションを促進することを目的として、本チームはプロダクトコミュニティにおける話題の検出と分析を行うシステムを開発しました。本システムは、開発者の発言をリアルタイムで収集し、話題の検出と分析を行うことで、開発者間のコミュニケーションを促進し、開発効率を向上させることを目指しています。



【優秀賞】

チーム名:「SMGプロジェクト」
 所属大学:東京大学大学院工学系研究科
 参加者氏名:重山 陽明、内山 誠、平野 未水
 タイトル:「Trust Recommendation」

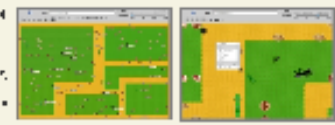
【受賞チームのコメント】
 今回のコンテストは、個人で開発することが難しいテーマを選択していただき、ありがとうございます。しかし、チームの専攻がOVDや4物に偏っていたため、そのテーマを解決することが、非常に大変な作業となりました。しかし、専攻の強みを生かして、OVDや4物の観点から、信頼性の向上を図ることができました。今回の受賞は、チームの協力を得た結果であり、今後の活動に励みます。



【アイデア賞】

チーム名:「F.M.II」
 所属大学:大阪大学大学院情報科学研究科
 参加者氏名:若根 良輔、藤本 典幸
 タイトル:「レシビ検索システム「IGSearch」」


【受賞チームのコメント】
 この度は、アイデア賞を授けられたいいただき、誠にありがとうございます。このコンテストで、考えられた期間中にシステムの企画・実装・公開という一連の流れを全てやり終えられたことは、大変なことです。苦労することも多かったですが、その分とても勉強になりました。今回、私はレシビ検索システムを開発しました。これは、私自身が現在のレシビ検索システムに不満を感じており、より良い検索システムを開発したいという思いから、開発を行いました。今回の受賞は、チームの協力を得た結果であり、今後の活動に励みます。



【アイデア賞】

チーム名:「F.M.II」
 所属大学:大阪大学大学院情報科学研究科
 参加者氏名:若根 良輔、藤本 典幸
 タイトル:「レシビ検索システム「IGSearch」」


【受賞チームのコメント】
 この度は、アイデア賞を授けられたいいただき、誠にありがとうございます。このコンテストで、考えられた期間中にシステムの企画・実装・公開という一連の流れを全てやり終えられたことは、大変なことです。苦労することも多かったですが、その分とても勉強になりました。今回、私はレシビ検索システムを開発しました。これは、私自身が現在のレシビ検索システムに不満を感じており、より良い検索システムを開発したいという思いから、開発を行いました。今回の受賞は、チームの協力を得た結果であり、今後の活動に励みます。



【アイデア賞】

チーム名:「SONI Advertising Lab」
 所属大学:同志社大学大学院IT学科
 参加者氏名:牧野 浩之
 タイトル:「竹間、繋いで作るプロダクト ビズ proupi.nl」

【受賞チームのコメント】
 この度は、アイデア賞を授けられたいいただき、誠にありがとうございます。このコンテストで、考えられた期間中にシステムの企画・実装・公開という一連の流れを全てやり終えられたことは、大変なことです。苦労することも多かったですが、その分とても勉強になりました。今回、私は竹間、繋いで作るプロダクトを開発しました。これは、私自身が現在の竹間、繋いで作るプロダクトに不満を感じており、より良い竹間、繋いで作るプロダクトを開発したいという思いから、開発を行いました。今回の受賞は、チームの協力を得た結果であり、今後の活動に励みます。



【アイデア賞】

チーム名:「SONI Advertising Lab」
 所属大学:同志社大学大学院IT学科
 参加者氏名:牧野 浩之
 タイトル:「竹間、繋いで作るプロダクト ビズ proupi.nl」

【受賞チームのコメント】
 この度は、アイデア賞を授けられたいいただき、誠にありがとうございます。このコンテストで、考えられた期間中にシステムの企画・実装・公開という一連の流れを全てやり終えられたことは、大変なことです。苦労することも多かったですが、その分とても勉強になりました。今回、私は竹間、繋いで作るプロダクトを開発しました。これは、私自身が現在の竹間、繋いで作るプロダクトに不満を感じており、より良い竹間、繋いで作るプロダクトを開発したいという思いから、開発を行いました。今回の受賞は、チームの協力を得た結果であり、今後の活動に励みます。

以上

■本件に関する報道関係の方からのお問合せ先

ソネットエンタテインメント株式会社
 広報 IR 部 広報課
 Tel:03-5745-1522 Fax:03-5745-1600
 E-mail:pr@so-net.ne.jp
